

第9回 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会 議事概要

- 1 開催日時 : 令和2年2月13日(木) 16:00~17:50
- 2 場 所 : さつき会館(島根県飯石郡飯南町八神117-1)
- 3 出席委員 : 山崎英樹委員長、山下潔委員、上田進一委員、藤原昭男委員
花岡俊直委員、田和貢委員、大作和弘委員 (名簿順)

4 議事次第

- 1) 開 会
- 2) 委員長挨拶 山崎飯南町長
- 3) 出席者紹介
- 4) 議 事
 - ① 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会規約の改正について
 - ② 第8回委員会以降の取組経過の報告
 - ③ 志津見ダム水源地域ビジョンの今後の予定について
 - ④ 志津見ダム貯蔵酒試行内容及びスケジュールについて
 - ⑤ その他
- 5) 閉 会

5 配布資料

- 資料-1 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会規約の改正
- 資料-2 第8回委員会以降の取組経過報告書
- 資料-3 令和元年度アクションプラン実施内容報告書
- 資料-4 令和2年度アクションプラン実施計画(案)
- 資料-5 第3回変更 地域活性化に資する志津見ダム貯蔵酒試行計画(案)

6 委員長挨拶

- ・平成23年度に始まった推進委員会も9回目となった。
- ・異常気象といわれるなか、昨年に続いて暖冬となり各方面に影響がでている、また、今年度も全国で大きな災害が頻発した中、昨年のコスモス祭も台風の影響で中止となりコスモス祭実行委員会の皆様にはご心労をお掛けした、今年は平穏な年になること

を願っている。

- ・令和の時代になり、志津見ダム完成から9年の歳月が過ぎようとしている、時代が代わってもこの志津見ダムは下流域の人々の安心と安全のために、本当に多くの皆様のご理解をいただいて完成したことを、これからもしっかりと伝えていかなければならない。

地元の皆様には、この志津見ダムが地域の資源・地域の宝と捉まえてビジョンを推進していただいている。

- ・今、飯南町の人口が4,800人を下回り町全体の高齢化率は45%となったが、志津見地区ではUIターンの方のお子様が保育所や小学校に活気をもたらしており、水源地域ビジョンの取組をしっかりと進めていただいている。

そして、人材育成の取組としては30～40代を中心とした志々未来会議実行委員会が元気な地域づくりをすすめているほか、ふるさとシンポジウムでは小学校、中学校、高校生の代表が自らの地域活動などを堂々と発表するのを見て、非常に力強く頼もしく思い、人材育成もしっかりできていると改めて実感した。

- ・本日の委員会ではぜひ貴重なご意見、ご指導をいただいて、これからも志津見ダムを中心とした地域づくり、水源地域ビジョン推進を行ってまいりたい。

7 議事

1) 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会規約の改正

- ・事務局から委員の変更（資料－1）について説明を行い、了承された。

2) 第8回委員会以降の取組経過報告

- ・事務局から、取組経過報告（資料－2、資料－3）について説明を行った。
- ・主な意見は以下のとおり。

○資料－3に、魚類調査の結果が出ているが確認された種が非常に少ない、神戸川にどのような魚が棲んでいるかが判ると良い。

○ダム上流公園への植栽については本数が少なく成長も遅い、山を削った場所である事をふまえた管理が必要。

3) 志津見ダム水源地域ビジョンの今後の予定について

- ・事務局から、令和2年度の実施計画案（資料－4）により説明を行い、承認された。
- ・主な意見は以下のとおり

○フォトコンテストの作品数が少なくなった、受賞者が喜ぶような賞品にできないか検討してほしい。

○彩りの森のライトアップは、非常に上手にいったように思う、期間など工夫して多くの

人に見てもらえる様検討する方が良い。

○志津見ダムの上流部（フラワーバレー等）には足を運ぶ機会が多いが、上流部と志津見ダムの堤体を一体とする湖面利用や堤体を使ったイベントなどを行ってはどうか。

○ポピー祭など花のイベントは女性に受けが良い、日本一の花にという意見もあった、昔田んぼだったフラワーバレーの地力も落ちているし雑草対策も難しいが、花期や丈の工夫をしながら綺麗な花を見て貰える様にしたい。

4) 志津見ダム貯蔵酒試行内容及びスケジュールについて

・事務局から、貯蔵酒試行計画（資料－５）により説明を行い承認された。

5) その他

○この地域はダム事業による地域整備などが上手く進んできたと思うし、そういった意味で視察も多い。我々の取組とかを取りまとめてPRをすることも活性化に繋がると思う。また、下流の治水のためダムを受け入れていることは防災への取組である、そういったアピールも考えて欲しい。

○長年ダム事業による地域整備・生活再建に一生懸命取り組んで来たが、いまの状況が全国的に見てどうなのか？という事を知る時期に来ている、他を知ることで好事例も取り入れる事ができる。

○住民のレクリエーションとしてダム上流公園などでグランドゴルフをやりたい。

以上